

多疾患併存患者への 在宅ケアの展開

シナリオで学ぶ「バランスモデル」

2型糖尿病、慢性心不全、骨粗鬆症、認知症、
変形性膝関節症を併せ持っている人――。

こうした主たる慢性疾患を複数抱える療養者の存在は
決して珍しいものではありません。

多疾患併存の状態（＝マルチモビディティ）に対しては、
単一疾患を念頭に置いたアプローチではなく、
総合的に関わっていく必要があります。

しかし、「総合的」といってもどのようなことを
考慮すればよいのでしょうか？

本特集では、「多疾患併存」であることによって生じる
リスクや負担について解説。

その上で、「本人の能力」と「治療負担」に注目する
「バランスモデル」という考え方を軸とした、
多疾患併存患者へのケアについて学びます。

